

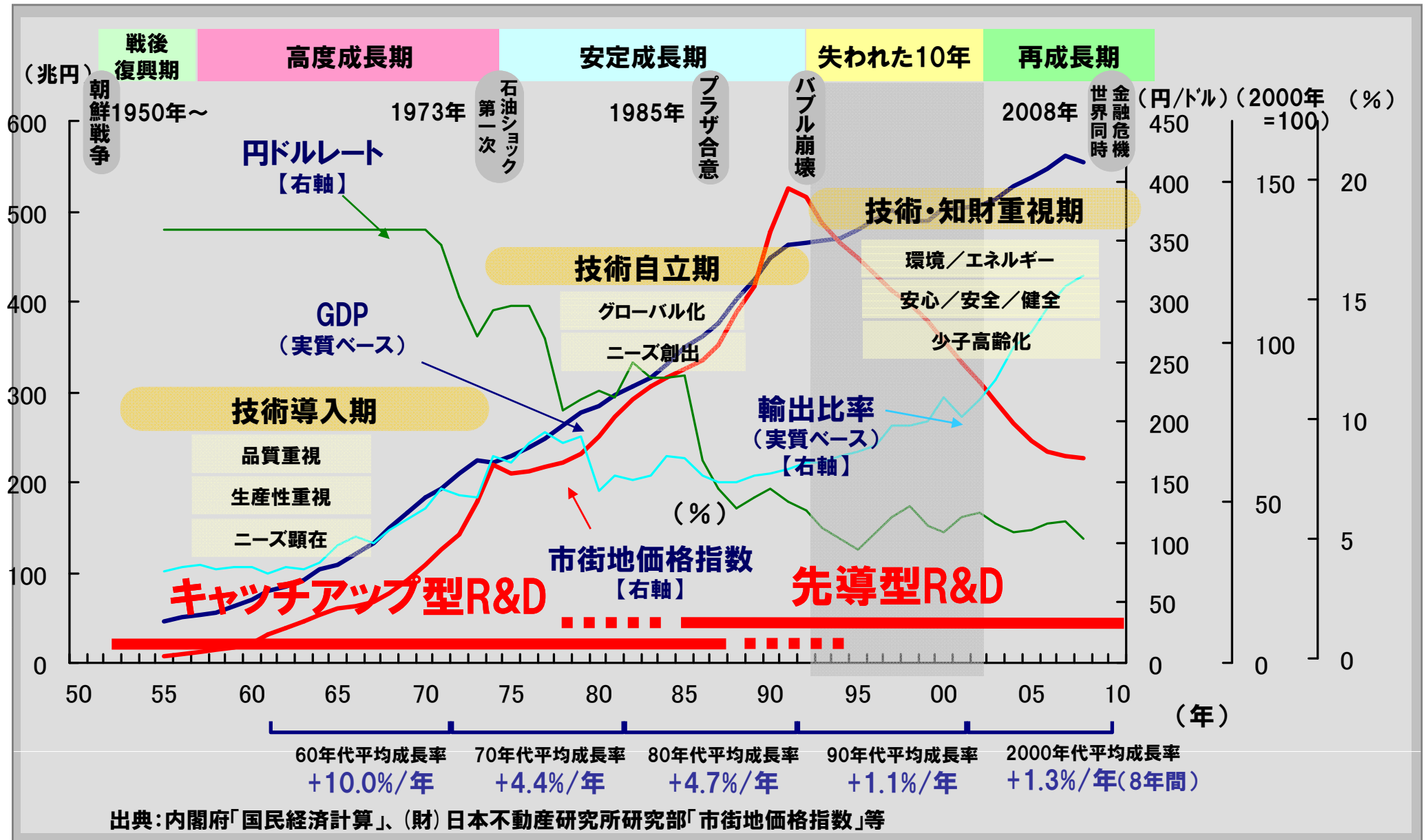
我が国のICT産業再発展に向けて

（内容）

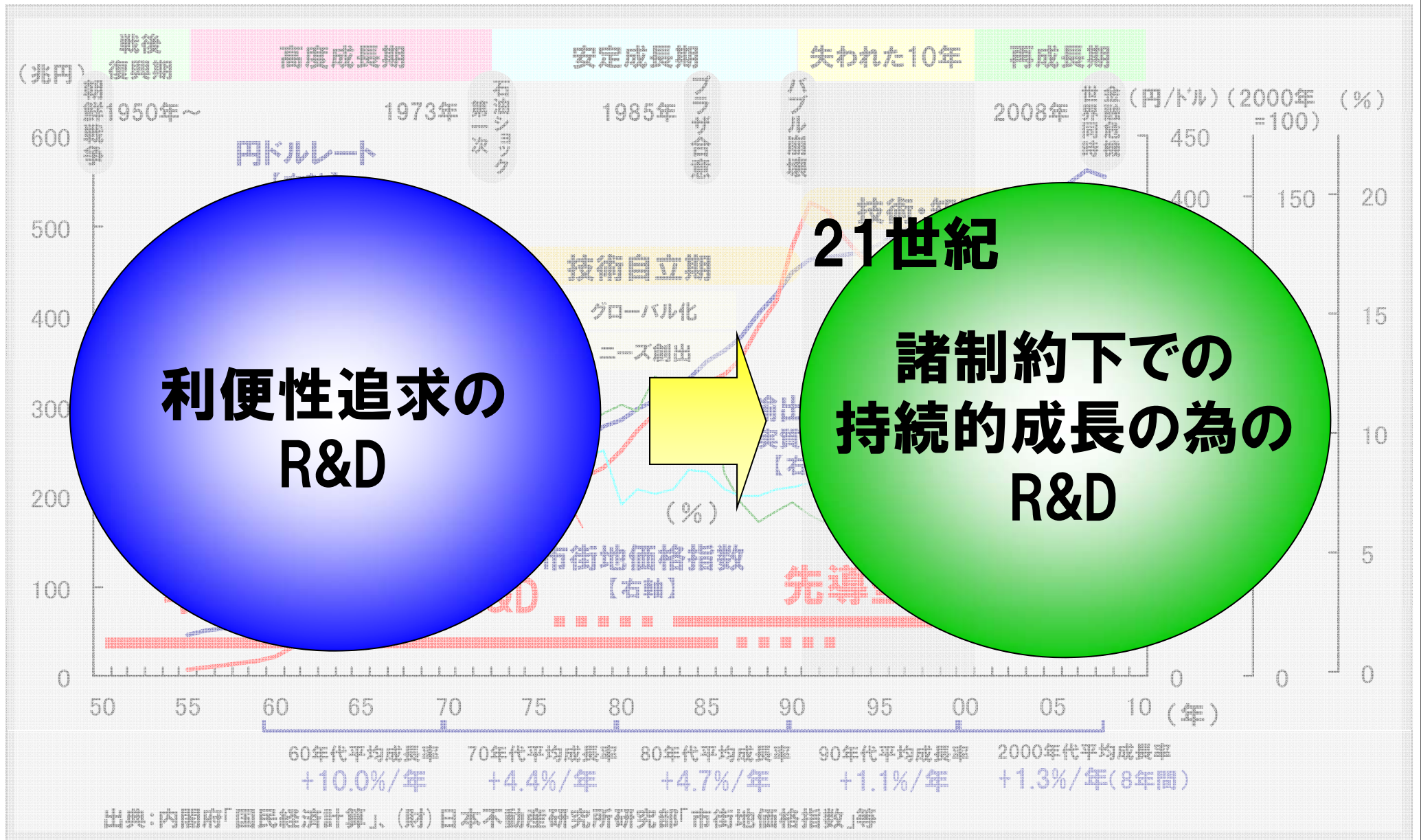
1. 我が国産業の変遷
2. 我が国ICT産業と学会への期待
3. 企業トップとして考えたこと
公的機関トップとして考えること

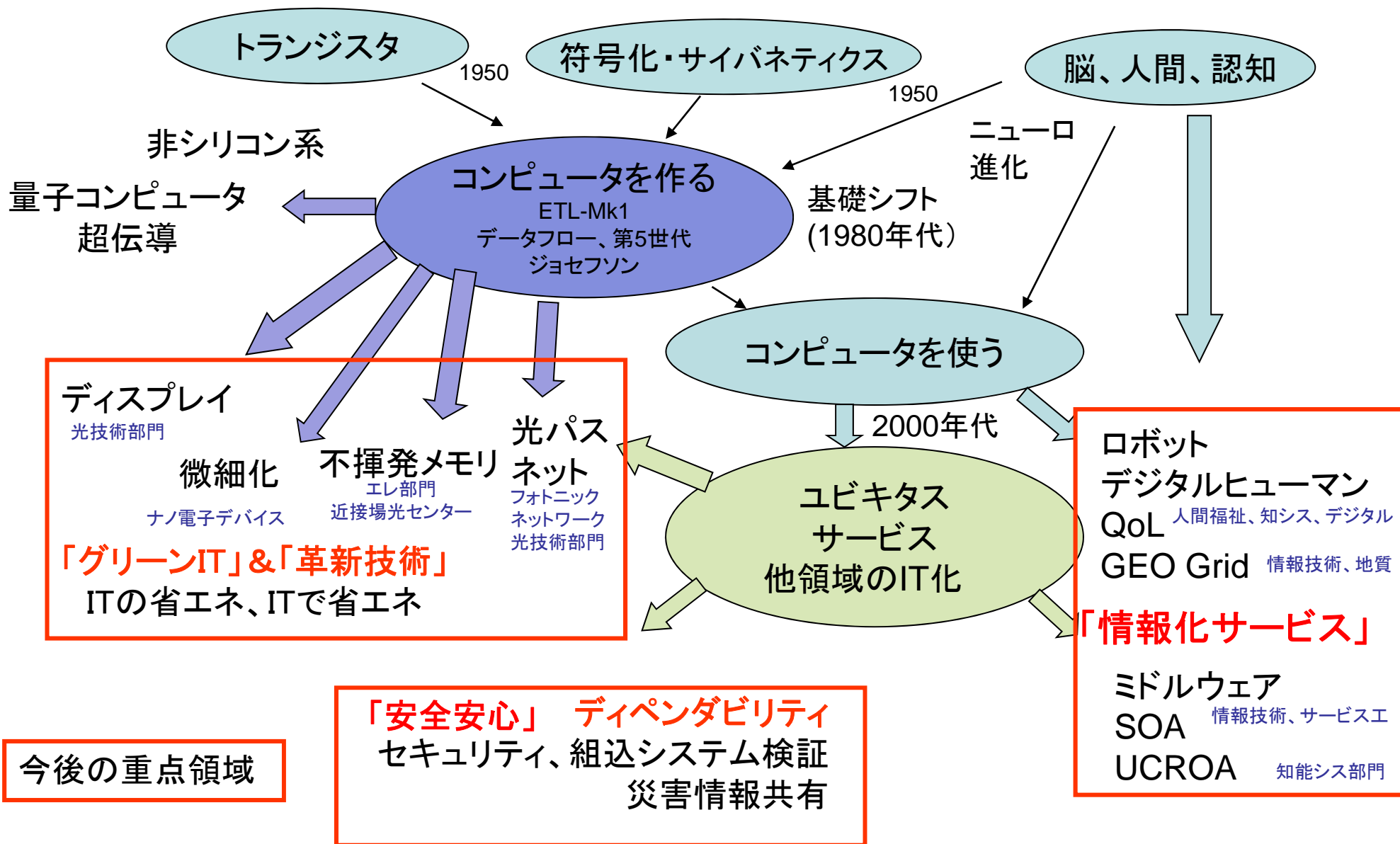
（独）産業技術総合研究所 理事長
元 三菱電機（株）社長・会長
野間口 有

我が国産業の歩み

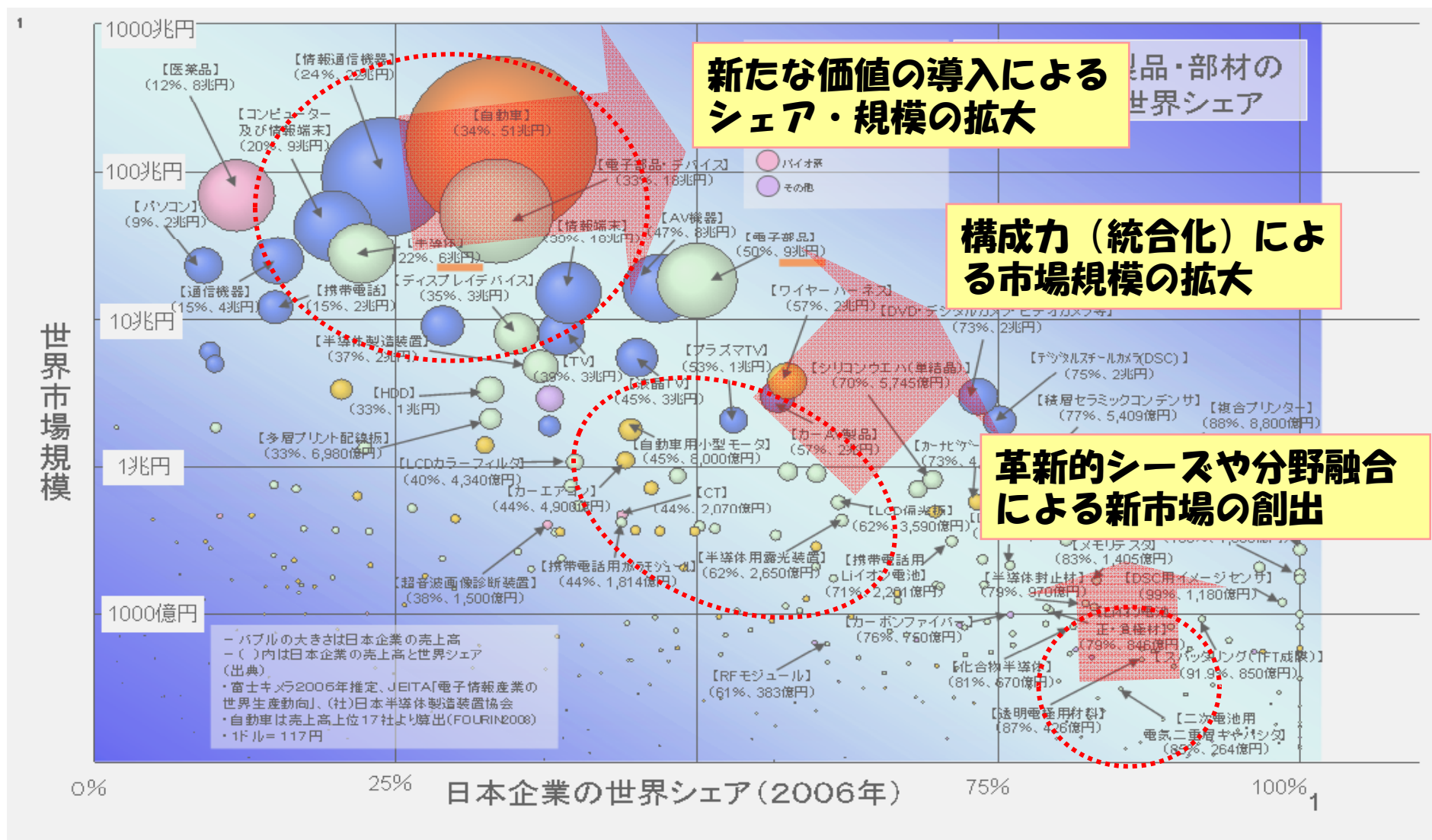


我が国産業の歩み





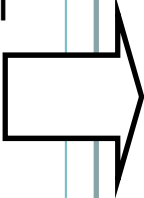
日本のICT産業を発展させる3つの施策



これまでの成功シナリオ

欧米の発明

カメラ
半導体/TFT
CCD
液晶
LED
光ファイバ
コンピュータ

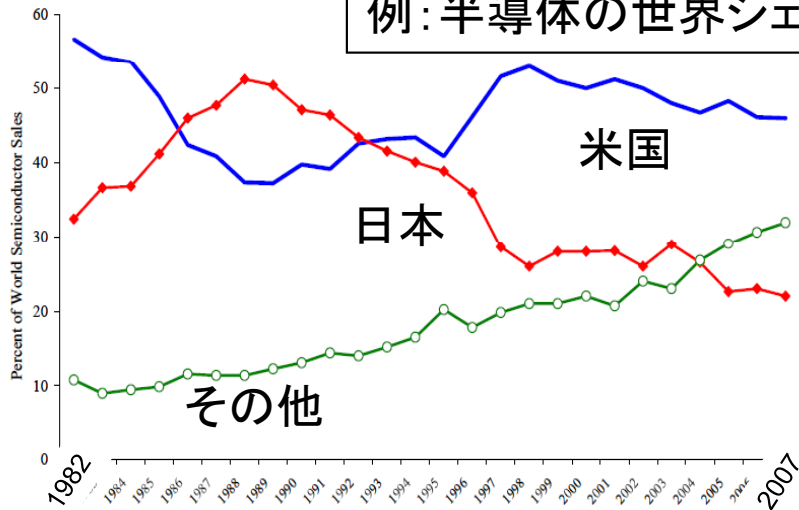


日本の製品化

デジタル/ビデオカメラ
高集積半導体メモリー
ウォークマン
CD/DVD/BD
液晶テレビ
ゲーム機
光通信

シナリオの破綻

例：半導体の世界シェア



①世界ニースへの感度不足 (ガラパゴス化)

図表5 日本のハイエンド品と世界の標準品の代表的な相違例

	日本の製品 (ハイエンド品)	世界の標準品
携帯電話	高度な機能を満載し、4-5万円の製造コストがかかっている。通信事業者が端末代金を代理店に支払う特殊な業界構造となっている	ローエンドは数十ドル、ミドルクラスまでが出荷台数の過半数を占め、平均単価は100ドル前半
液晶TV	1080Pのフルスペックハイビジョンが主流で、BSデジタル、地上波デジタルチューナー、EPG (番組ガイド) など多彩なサービスが入る	基本的にはモニターとしての役割。日本市場価格の半額程度が多い
DVDレコーダー	HDD搭載などで高度な録画機能を持ち、大容量のBlu-rayへのシフトがはじまる	再生が中心で録画機能に関しては世界的にはあまり普及していない
カーナビ	さまざまな機能が満載され画面が大きい。車内に標準装備している場合が増えている。数万~十数万円程度	持ち運びのできる機種が多い。単純な地図と小さい画面で単純操作の連続。単価も数百ドルと廉価
ETC	時速80kmでも通過可能なハイエンド仕様としたが、端末コストが高くなり、普及に時間がかかっている	時速数十kmでの通過を想定した簡易設計で端末コストが数十ドルですみ、都市部では比較的普及している

(出所) 野村

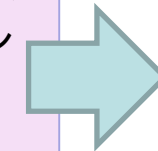
出展：宮崎智彦「ガラパゴス化する日本の製造業」

新しい価値 (指標) の創出・普及が不可欠

②グローバルな戦略不足

Intel マイクロプロセッサ
IBM サーバ、スパコン
Microsoft オフィスソフト
TSMC ファブサービス

グローバル標準基盤技術



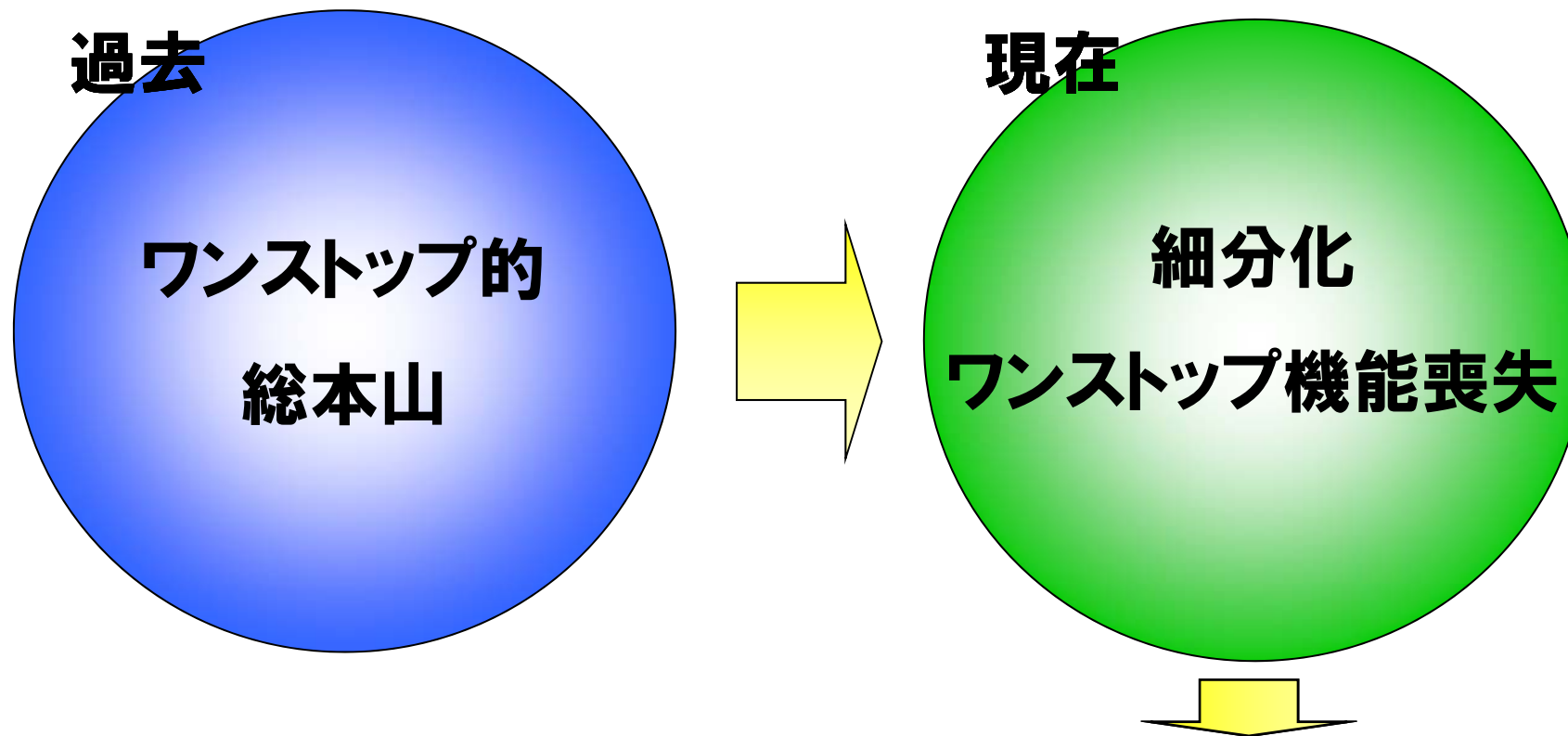
Google
Amazon
Apple

グローバル
アライアンス

グローバル技術と標準化シナリオが不可欠

出展WSTS

学会への期待



学会間の連携で「新しい価値」議論の場を
国際標準化戦略が不可欠
発表レベルの向上が不可欠

企業経営者として考えたこと

研究職人材は、

企業戦士であると同時に**研究者**である。

「知的生産性」の定義と意義

《定義》 研究グループ単位での研究成果を定量的に評価

知的生産性 = 成果量 / グループ人数 [件/人年]

成果量 = $w1 \times$ 特許出願件数 + $w2 \times$ 研究レポート件数
+ $w3 \times$ 学会発表件数 + $w4 \times$ 論文件数
+ $w5 \times$ 標準化寄書件数 + $w6 \times$ 仕様書件数

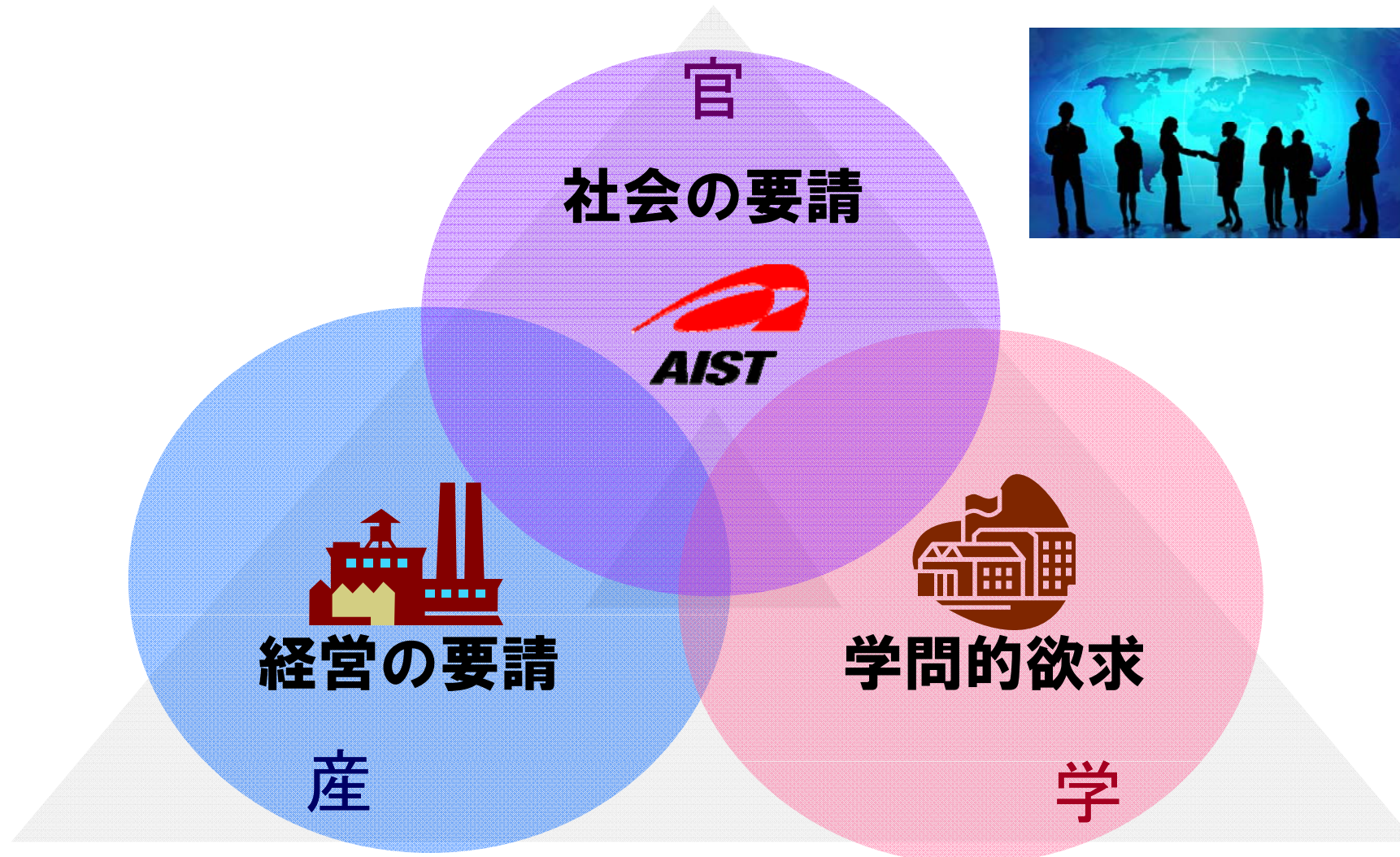
($w1 \sim w6$: 各研究成果に対する重み)

《意義》

- ・ 研究活動成果の定量的な評価
- ・ チーム, 部, 部門別の成果目標とプロセスのビジュアル化
- ・ 学会発表, 論文投稿文化の醸成 (学会・研究会活動の活性化)
- ・ チームの成果を出し易い環境の構築 (個人評価ではない)

公的機関トップとして考えること

産学官それぞれのR & D



公的機関トップとして考えること

研究職人材は、

社会への奉仕者であると同時に**研究者**である。



「社会の中で、社会のために」



*National Institute of
Advanced Industrial Science
and Technology*

AIST

技術を社会へ

Integration for Innovation

ご清聴ありがとうございました